

事後評価書（完了後の評価）

| | | | |
|-------|----------------------------|-------|-------|
| 都道府県名 | 青森県 | 関係市町村 | おいらせ町 |
| 事業名 | 水産物供給基盤整備事業（地域水産物供給基盤整備事業） | | |
| 地区名 | モモイシ 百石 | 事業主体 | 青森県 |

I 基本事項

| | | | |
|---------|--|--------|-----------------|
| 1. 地区概要 | | | |
| 漁港名（種別） | 百石漁港（第1種） | 漁場名 | — |
| 陸揚金額 | 203 百万円 | 陸揚量 | 590.2 トン |
| 登録漁船隻数 | 37 隻 | 利用漁船隻数 | 35 隻 |
| 主な漁業種類 | 小型定置網、小型底引き網、刺し網 | 主な魚種 | さけ、ほっきがい、ひらめ、ぶり |
| 漁業経営体数 | 31 経営体 | 組合員数 | 193 人 |
| 地区の特徴 | 本地区は、青森県東南部の太平洋に面したおいらせ町に位置し、二級河川奥入瀬川と明神川の河口部に位置する。また南側には八戸漁港、北側には三沢漁港がある。気候は太平洋側にあるため初夏には偏東風（ヤマセ）が吹き、低温多湿となるが、冬期間の積雪はほとんどない。沖合には遠浅の砂浜が広がり、ほっきがいやカレイ、ヒラメ、イワシ等、回遊魚の好漁場であり、古くからイワシ等の地引網漁が盛んに行われてきた。 | | |
| 2. 事業概要 | | | |
| 事業目的 | 本漁港は、青森県東南部の太平洋に面したおいらせ町にあり、二級河川奥入瀬川と明神川の河口部に挟まれた場所にある。本漁港は、昭和27年に第1種漁港に指定されたが、河川からの流入土砂による港内の埋没や静穏度不足、また係留施設、漁港施設用地の不足等により、安全性・効率性に支障をきたしている状況にあった。特に港内の埋没は顕著で、埋没の進行により、平成11年からは漁港の使用が不可能となった。そのため、隣接する他の漁港を利用せざるを得ない状況であった。漁業者は他漁港への移動のためのコストが高み、漁業活動に支障をきたしていた。また、移動先の漁港では、静穏度不足や係留施設等の不足により、出漁準備作業や陸揚げ作業、漁具整備作業等で安全性や効率性に問題があった。 よって、これらの状況を改善するため、百石漁港に、外郭施設、係留施設、漁港施設用地、臨港道路、水域施設を整備し、安全で効率的な水産物の供給基盤の確保を目指したものである。 | | |
| 主要工事計画 | 南防波堤L=405.0m 北防波堤L=270.0m 護岸L=65.0m 護岸L=130.0m 護岸L=160.0m 護岸L=130.0m 北防砂堤L=200.0m -3.0m岸壁L=70.0m -2.0m物揚場L=125.0m 船揚場L=60.0m -3.0m航路A=9,500m ² -3.0m泊地A=9,900m ² -2.0m泊地A=11,400m ² 道路L=380.0m | | |
| 事業費 | 3,900百万円 | 事業期間 | 平成14年度～平成23年度 |

II 点検項目

| | | | | |
|--|---|---------|------|---------------------|
| 1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 | | | | |
| 本事業では、事業採択時に費用対効果分析を行っていない。 | | | | |
| 2. 事業効果の発現状況 | | | | |
| 事業実施以前は、港内の埋没や静穏度不足、係留施設・漁港施設用地の不足等により、安全性・効率性に支障をきたしていたが、本事業による、外郭施設、係留施設、漁港施設用地、臨港道路、水域施設の整備により、漁業活動の安全性・効率性の向上が図られた。また、現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。 | | | | |
| 3. 事業により整備された施設の管理状況 | | | | |
| 本事業により整備された施設は、漁港管理者である青森県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき漁港管理規程を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。 | | | | |
| 4. 事業実施による環境の変化 | | | | |
| 消波工の設置等により、水産動植物の隠れ場機能や着定基質機能など、副次的効果の発現が見られる。 | | | | |
| 5. 社会経済情勢の変化 | | | | |
| 当地区における登録漁船隻数は平成13年には50隻であったが、漁業者の高齢化や担い手不足といった問題等があり、平成26年には37隻に減少している。 | | | | |
| 6. 今後の課題 | | | | |
| 本事業により、港内静穏度の向上や陸揚げ等の漁業活動の効率化が図られた。効果を長期的に発現させていくために、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が重要である。 | | | | |
| 7. 事業の投資効果が十分見込まれたか | | | | |
| 平成13年評価時の費用便益比B/C | — | 現時点のB/C | 1.18 | ※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり |

III 総合評価

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| <p>本事業では、生産拠点漁港として重要な役割を担っている当該地区において、安全で効率的な水産物の供給基盤を確保するために、外郭施設や係留施設、水域施設、漁港施設用地、臨港道路の整備を行った。</p> <p>また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。さらに、事業効果のうち貨幣化が困難な効果についても、消波工の設置等により、水産動植物の隠れ場機能や着定基質機能などの副次的効果が認められ、水産動植物の増殖が図られるものと考えられた。</p> <p>以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものであり、想定した事業効果の発現が認められた。</p> | | | | |
|---|--|--|--|--|

費用対効果分析集計表

1 基本情報

| | | | |
|-------|---------------|---------|-----|
| 都道府県名 | 青森県 | 地区名 | 百石 |
| 事業名 | 地域水産物供給基盤整備事業 | 施設の耐用年数 | 50年 |

2 評価項目

| | 評価項目 | | 便益額（現在価値化） | |
|-----------------|--------------------------|------------------|----------------|-----------|
| | 便益の 評価項目 及び 便益額 | 水産物の生産性向上 | ①水産物生産コストの削減効果 | 4,483,044 |
| ②漁獲機会の増大効果 | | | 152,245 | 千円 |
| ③漁獲可能資源の維持・培養効果 | | | | 千円 |
| ④漁獲物付加価値化の効果 | | | 1,447,948 | 千円 |
| 漁業就労環境の向上 | | ⑤漁業就労環境の労働環境改善効果 | 1,404,756 | 千円 |
| 生活環境の向上 | | ⑥生活環境の改善効果 | | 千円 |
| 地域産業の活性化 | | ⑦漁業外産業への効果 | | 千円 |
| 非常時・緊急時の対処 | | ⑧生命・財産保全・防御効果 | | 千円 |
| | | ⑨避難・救助・災害対策効果 | | 千円 |
| 自然保全・文化の継承 | | ⑩自然環境保全・修復効果 | | 千円 |
| | | ⑪景観改善効果 | | 千円 |
| | | ⑫地域文化保全・継承効果 | | 千円 |
| その他 | | ⑬漁港利用者の利便性向上効果 | | 千円 |
| | | ⑭その他 | | 千円 |
| 計（総便益額） | | B | 7,487,993 | 千円 |
| 総費用額（現在価値化） | | C | 6,364,519 | 千円 |
| 費用便益比 | | B / C | 1.18 | |

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ①漁業地域の形成
事業の実施により、漁家収入が安定することで地域の活性化に寄与する。
- ②担い手支援
漁獲量の増加に伴う水産業の振興が図られ後継者対策に寄与する。

地域水産物供給基盤整備事業 百石地区 事業概要図

【整理番号4】



事業主体: 青森県

主要工事計画: 南防波堤 L=405.0m、北防波堤 L=270.0m、①護岸 L=65.0m、②護岸 L=130.0m、③護岸 L=160.0m、④護岸(改良) L=130.0m
北防砂堤 L=200.0m、-3.0m航路 A=9,500m²、-3.0m泊地 A=9,900m²、-2.0m泊地 A=11,400m²、-3.0m岸壁 L=70.0m
-2.0m物揚場 L=125.0m、船揚場 L=60.0m、道路 L=380.0m、用地(埋立) A=14,500m²

事業費: 3,900百万円

事業期間: 平成14年度～平成23年度

百石地区地域水産物供給基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的： 本漁港は、青森県東南部の太平洋に面したおいらせ町にあり、二級河川奥入瀬川と明神川の河口部に挟まれた場所にある。本漁港は、昭和27年に第1種漁港に指定されたが、河川からの流入土砂による港内の埋没や静穏度不足、また係留施設、漁港施設用地の不足等により、安全性・効率性に支障をきたしている状況にあった。特に港内の埋没は顕著で、埋没の進行により、平成11年からは漁港の使用が不可能となった。そのため、隣接する他の漁港を利用せざるを得ない状況であった。漁業者は他漁港への移動のためのコストが嵩み、漁業活動に支障をきたしていた。また、移動先の漁港では、静穏度不足や係留施設等の不足により、出漁準備作業や陸揚げ作業、漁具整備作業等で安全性や効率性に問題があった。
- よって、これらの状況を改善するため、百石漁港に、外郭施設、係留施設、漁港施設用地、臨港道路、水域施設を整備し、安全で効率的な水産物の供給基盤の確保を目指したものである。

(2) 主要工事計画：

南防波堤L=405.0m 北防波堤L=270.0m 護岸L=65.0m 護岸L=130.0m
 護岸L=160.0m 護岸L=130.0m 北防砂堤L=200.0m -3.0m岸壁L=70.0m
 -2.0m物揚場L=125.0m 船揚場L=60.0m -3.0m航路A=9,500m²
 -3.0m泊地A=9,900m² -2.0m泊地A=11,400m² 道路L=380.0m
 用地A=14,500m²

- (3) 事業費：3,900百万円

- (4) 工期：平成14年度～平成23年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

| 区分 | 算定式 | 数値 |
|-------------|-----|---------------|
| 総費用（現在価値化） | ① | 6,364,519（千円） |
| 総便益額（現在価値化） | ② | 7,487,993（千円） |
| 総費用総便益比 | ②÷① | 1.18 |

(2) 総費用の総括

| 施設名 | 整備規模 | 事業費 (千円) |
|--------------|------------------------|-----------|
| 南防波堤(新設) | L=405.0m | 1,653,878 |
| 北防波堤(新設) | L=270.0m | 524,702 |
| 護岸(新設) | L= 65.0m | 84,708 |
| 護岸(新設) | L=130.0m | 140,300 |
| 護岸(新設) | L=160.0m | 34,372 |
| 護岸(新設) | L=130.0m | 135,795 |
| 北防砂堤(新設) | L=200.0m | 396,600 |
| -3.0m岸壁(新設) | L= 70.0m | 70,391 |
| -2.0m物揚場(新設) | L=125.0m | 137,033 |
| 船揚場(新設) | L= 60.0m | 98,784 |
| -3.0m航路(新設) | A= 9,500m ² | 192,810 |
| -3.0m泊地(新設) | A= 9,900m ² | 160,504 |
| -2.0m泊地(新設) | A=11,400m ² | 129,120 |
| 道路(新設) | L=380.0m | 35,062 |
| 用地(新設) | A=14,500m ² | 105,941 |
| 計 | | 3,900,000 |
| 維持管理費等 | | 50,000 |
| 総費用(消費税込み) | | 3,950,000 |
| 内、消費税額 | | 189,295 |
| 総費用(消費税抜) | | 3,760,705 |
| 現在価値化後の総費用 | | 6,364,519 |

(3) 年間標準便益

| 効果項目 | 区分 | 年間標準便益額 (千円) | 効果の要因 |
|-----------------|----|-----------------|---|
| 水産物生産コストの削減効果 | | 164,928 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港整備に伴う漁港までの移動時間の削減 ・ 漁港整備に伴う漁場までの移動時間の削減 ・ 漁港整備に伴う漁港までの移動経費の削減 ・ 漁港整備に伴う漁場までの移動経費の削減 ・ 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係る見回り日数・移動時間の削減 ・ 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係る移動経費の削減 ・ 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係るロープ固定時間の削減 ・ 漁港整備に伴う漁船修繕費の削減 ・ 漁港整備に伴う漁船上架費用の削減 ・ 漁港整備に伴う陸揚げ待ち時間の削減 ・ 用地整備に伴う網外し作業時間の削減 ・ 用地整備に伴う刺網の洗浄時間の削減 ・ 用地整備に伴う漁具整備（定期補修）時間の削減 ・ 漁港整備に伴う港内作業時間の削減 |
| 漁獲機会の増大効果 | | 5,601 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港整備に伴う出漁日数の増加 |
| 漁獲物付加価値化の効果 | | 53,269 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港整備に伴う陸揚げ・出荷時間等短縮による魚価の向上 |
| 漁業就労環境の労働環境改善効果 | | 51,680 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港整備に伴う漁業就業者の作業環境の改善 |
| 計 | | 275,478 | |

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

(1)-1. 漁港整備に伴う漁港までの移動時間の削減

・百石漁港の整備に伴い、代替利用港（三沢漁港、市川船溜）までの移動時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 10 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) | ⑥ 0.40 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) | ⑦ 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,038 | $①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000$ |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) | ⑥ 0.40 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) | ⑦ 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,619 | $①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000$ |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 5 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 4 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) | ⑥ 0.40 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) | ⑦ 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,172 | $①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000$ |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 1 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 2 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.40 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 27 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) ④ | 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.40 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,629 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 4 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.60 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 904 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 14 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.60 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,524 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 4 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.60 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,696 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 1 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 2 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.60 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 60 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動時間(時間) ⑥ | 0.60 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) ⑦ | 0.23 | |
| 労働単価(円/時間) ⑧ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,772 | $①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧/1,000$ |

| | | |
|-------------|----|--------|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 17,441 |
|-------------|----|--------|

(1)-2. 漁港整備に伴う漁場までの移動時間の削減

・百石漁港の整備に伴い、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)から漁場までの移動時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 10 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,405 | $①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000$ |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 14 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,191 | $①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000$ |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 5 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 4 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の三沢漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.60 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 876 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 60 | |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 1 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 2 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の三沢漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.60 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 37 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の三沢漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.60 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 657 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------------|-------|---|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 120 | |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 4 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場までの往復移動時間(時間) ④ | 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) ⑤ | 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,697 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,295 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 100 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場までの往復移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 5,049 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場までの往復移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,019 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 60 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 1 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 2 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場までの往復移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 86 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場までの往復移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場までの往復移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,514 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|--------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 15,129 | |
|-------------|----|--------|--|

(1)-3. 漁港整備に伴う漁港までの移動経費の削減

・百石漁港の整備に伴い、代替利用港（三沢漁港、市川船溜）までの車両移動経費が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 3 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ 12 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトヨタ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 122 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 14 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 2 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ 12 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトヨタ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 316 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 4 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 2 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ 12 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトヨタ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 430 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 1 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ 12 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 6 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 2 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動回数(回) | ④ 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ 12 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 322 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) | ④ 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) | ⑥ 18 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 89 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) ① | 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) ② | 14 | |
| 移動車両台数(台/経営体) ③ | 2 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) ⑥ | 18 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) ⑦ | 7 | |
| 車両走行経費(円/km) ⑧ | 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析が「トライ」参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) ⑨ | 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) ⑩ | 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 695 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) ② | 4 | |
| 移動車両台数(台/経営体) ③ | 2 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) ⑥ | 18 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) ⑦ | 7 | |
| 車両走行経費(円/km) ⑧ | 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析が「トライ」参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) ⑨ | 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) ⑩ | 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 733 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|-------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) ① | 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) ② | 1 | |
| 移動車両台数(台/経営体) ③ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) ④ | 1 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) ⑤ | 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) ⑥ | 18 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) ⑦ | 7 | |
| 車両走行経費(円/km) ⑧ | 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析が「トライ」参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) ⑨ | 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) ⑩ | 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 14 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 移動車両台数(台/経営体) | ③ 2 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動回数(回) | ④ 2 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動回数(回) | ⑤ 1 | |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) | ⑥ 18 | |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ 7 | |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ 23.62 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がイテライ参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ 0.967 | 内閣府経済社会総合研究所 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ 0.925 | 〃 |
| 年間便益額(千円/年) | 550 | ①*②*③*(④*⑥-⑤*⑦)*⑧*⑩/⑨/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|-------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 3,277 | |
|-------------|----|-------|--|

(1)-4. 漁港整備に伴う漁場までの移動経費の削減

・百石漁港の整備に伴い、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)から漁場までの漁船移動経費が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がイテライ参考資料(水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 潤滑油消費量=燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/リットル) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 64 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦*(1+⑧)*⑨/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がイテライ参考資料(水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 潤滑油消費量=燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/リットル) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 252 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 100 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 60 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 1 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 10 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | |
| 整備前の三沢漁港～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.60 | |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 75 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 120 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要 する1時間当たりの燃料費 |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 149 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 100 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要 する1時間当たりの燃料費 |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 581 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|--|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライの参考資料 (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要 する1時間当たりの燃料費 |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | |
| 重油単価(円/ℓ) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 232 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|---|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 60 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 1 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトラバの参考資料 |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 重油単価(円/リットル) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 24 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|--------|---|
| 整備後の作業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 対象漁船の馬力(PS) | ③ 90 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の市川船溜～漁場間移動時間(時間) | ④ 0.90 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港～漁場間移動時間(時間) | ⑤ 0.37 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 漁船の標準燃料消費率(kg/PS・h) | ⑥ 0.17 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 重油重量(kg/m3) | ⑦ 860 | 水産基盤整備事業費用対効果分析がトラバの参考資料 |
| 潤滑油消費量＝燃料消費量*2% | ⑧ 0.02 | (水産庁H28.4) 漁業活動等に伴う経費 漁船航行に要する1時間当たりの燃料費 |
| 重油単価(円/リットル) | ⑨ 58.4 | 日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料 重油A 小型ローリー 東北H27.10～H28.9平均 |
| 年間便益額(千円/年) | 174 | ①*②*③*④*⑤*(1+⑥)*⑦*⑧/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|-------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 1,661 | |
|-------------|----|-------|--|

(1)-5. 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係る見回り日数・移動時間の削減

・百石漁港の整備に伴い、荒天時見回り作業日数及び代替利用港(三沢漁港、市川船溜)までの移動時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---------|---|
| 対象漁船隻数(隻) | ① 18 | |
| 整備前の荒天時見回り日数(日/年) | ② 30 | |
| 整備後の荒天時見回り日数(日/年) | ③ 30 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 見回り回数(回/日) | ④ 3 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 見回り時間(時間/回) | ⑤ 0.5 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動時間(時間) | ⑥ 0.40 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) | ⑦ 0.23 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 見回り人数(人/隻) | ⑧ 1 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑨ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 374 | (①*(②-③)*④*(⑤+⑥-⑦)*⑧*⑨ +①*③*④*(⑥-⑦)*⑧*⑨)/1,000 |

2. 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|---|---|-------|
| 対象漁船隻数(隻) | ① | 17 |
| 整備前の荒天時見回り日数(日/年) | ② | 60 |
| 整備後の荒天時見回り日数(日/年) | ③ | 30 |
| 見回り回数(回/日) | ④ | 3 |
| 見回り時間(時間/回) | ⑤ | 0.5 |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動時間(時間) | ⑥ | 0.60 |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動時間(時間) | ⑦ | 0.23 |
| 見回り人数(人/隻) | ⑧ | 1 |
| 労働単価(円/時間) | ⑨ | 1,361 |
| 年間便益額(千円/年) | | 2,582 |
| 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 $\frac{((① * (② - ③)) * ④ * (⑤ + ⑥ - ⑦)) * ⑧ * ⑨ + ① * ③ * ④ * (⑥ - ⑦) * ⑧ * ⑨}{1,000}$ | | |

| | | |
|-------------|----|-------|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 2,956 |
|-------------|----|-------|

(1)-6. 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係る移動経費の削減

- ・百石漁港の整備に伴い、荒天時警戒作業に係る代替利用港(三沢漁港、市川船溜)までの車両移動経費が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|--|---|-------|
| 整備前の荒天時見回り日数(日/年) | ① | 30 |
| 整備後の荒天時見回り日数(日/年) | ② | 30 |
| 漁船数(隻) | ③ | 18 |
| 移動車両台数(台/隻) | ④ | 1 |
| 見回り回数(回/日) | ⑤ | 3 |
| 整備前の自宅～三沢漁港間往復移動距離(km) | ⑥ | 12 |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ | 7 |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ | 23.62 |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ | 0.967 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ | 0.925 |
| 年間便益額(千円/年) | | 183 |
| 水産基盤整備事業費用対効果分析がトライン参考資料(水産庁H28.4)H20車両走行経費市街地乗用車時速30km 内閣府経済社会総合研究所 $\frac{(((① - ②) * ③ * ④ * ⑤ * ⑥ * ⑧ * ⑩) / ⑨ + ② * ③ * ④ * ⑤ * (⑥ - ⑦) * ⑧ * ⑩) / ⑨}{1,000}$ | | |

2. 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---|-------|
| 整備前の荒天時見回り日数(日/年) | ① | 60 |
| 整備後の荒天時見回り日数(日/年) | ② | 30 |
| 漁船数(隻) | ③ | 17 |
| 移動車両台数(台/隻) | ④ | 1 |
| 見回り回数(回/日) | ⑤ | 3 |
| 整備前の自宅～市川船溜間往復移動距離(km) | ⑥ | 18 |
| 整備後の自宅～百石漁港間往復移動距離(km) | ⑦ | 7 |
| 車両走行経費(円/km) | ⑧ | 23.62 |
| GDPデフレーター(H20) | ⑨ | 0.967 |
| GDPデフレーター(H26) | ⑩ | 0.925 |
| 年間便益額(千円/年) | | 1,002 |

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

水産基盤整備事業費用対効果分析が「イ」の参考資料(水産庁H28.4) H20車両走行経費 市街地 乗用車 時速30km

内閣府経済社会総合研究所

〃

$((①-②)*③*④*⑤*⑥*⑧*⑩/⑨ + ②*③*④*⑤*(⑥-⑦)*⑧*⑩/⑨)/1,000$

| | | |
|-------------|----|-------|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 1,185 |
|-------------|----|-------|

(1)-7. 漁港整備に伴う荒天時警戒作業に係るロープ固定時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(市川船溜)に比べ港内静穏度が良いため、荒天時におけるロープ固定(強固な係留)回数が削減された。

市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---|-------|
| 対象漁船隻数(隻) | ① | 17 |
| 整備前の警戒係留回数(回/年) | ② | 20 |
| 整備後の警戒係留回数(回/年) | ③ | 10 |
| ロープ固定時間(時間/回) | ④ | 0.5 |
| ロープ固定人数(人/隻) | ⑤ | 1 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ | 1,361 |
| 年間便益額(千円/年) | | 115 |

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満

$①*(②-③)*④*⑤*⑥/1,000$

(1)-8. 漁港整備に伴う漁船修繕費の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(市川船溜)に比べ港内静穏度が良いため、漁船の修繕費が削減された。

市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---|-------|
| 漁船の破損による修理費(千円) | ① | 300 |
| 整備前の漁船破損隻数(隻/年) | ② | 5 |
| 整備後の漁船破損隻数(隻/年) | ③ | 0 |
| 年間便益額(千円/年) | | 1,500 |

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

$①*(②-③)/1,000$

(1)-9. 漁港整備に伴う漁船上架費用の削減

・百石漁港の整備に伴い、漁船修理時の上架作業が自港で行えることにより、上架費用が削減された。

| 区分 | | 備考 |
|-------------------------------|-------|---|
| 対象漁船数(隻) | ① 35 | H26港勢調査：動力船総数 |
| 整備前の他漁港での修理用船揚場上架費用(千円/隻) | ② 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の百石漁港におけるクレーン車での上架費用(千円/隻) | ③ 20 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,400 | ①*(②-③)/1,000 |

(1)-10. 漁港整備に伴う陸揚げ待ち時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、係留施設及び用地が十分な延長・面積を有しており、陸揚げ待ち時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 120 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 10 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,054 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|---|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 100 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 4,763 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|---|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,905 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 60 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 1 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 2 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| | | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 81 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| | | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,429 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|---|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 120 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 4 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| | | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,221 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 100 | |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | 調査日：平成28年11月10日 |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | 調査場所：百石町漁業協同組合 |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | 調査対象：百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 |
| | | 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 4,763 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,905 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 1 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 2 | |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 81 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の陸揚げ待ち時間(時間) | ④ 0.50 | |
| 整備後の陸揚げ待ち時間(時間) | ⑤ 0.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,429 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|--------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 20,631 | |
|-------------|----|--------|--|

(1)-11. 用地整備に伴う網外し作業時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、用地が十分な面積を有しており、網外し作業時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網外し作業時間(時間) | ④ 3.00 | |
| 整備後の網外し作業時間(時間) | ⑤ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 7,621 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網外し作業時間(時間) | ④ 3.00 | |
| 整備後の網外し作業時間(時間) | ⑤ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 5,716 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

3. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網外し作業時間(時間) | ④ 3.00 | |
| 整備後の網外し作業時間(時間) | ⑤ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 7,621 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

4. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網外し作業時間(時間) | ④ 3.00 | |
| 整備後の網外し作業時間(時間) | ⑤ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 5,716 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

| | | |
|-------------|----|--------|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 26,674 |
|-------------|----|--------|

(1)-12. 用地整備に伴う刺網洗浄時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、用地が十分な面積を有しており、刺網の洗浄時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑥ 2.50 | |
| 整備後のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 8,231 | ①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑥ 2.50 | |
| 整備後のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 6,173 | ①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000 |

3. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 4 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑥ 2.50 | |
| 整備後のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 8,231 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

4. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑥ 2.50 | |
| 整備後のゴミ外し・洗浄時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 6,173 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

| | | | |
|-------------|----|--------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 28,808 | |
|-------------|----|--------|--|

(1)-13. 用地整備に伴う漁具整備(定期補修)時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、用地が十分な面積を有しており、漁具整備(定期補修)時間が削減された。

1. サケ小型定置網漁業(10~20t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の年間漁具補修日数(日/年) | ① 10 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 作業人数(人/隻) | ③ 10 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前の漁具補修時間(時間) | ⑥ 3.00 | |
| 整備後の漁具補修時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,354 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

2. サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の年間漁具補修日数(日/年) | ① 10 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 作業人数(人/隻) | ③ 4 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前の漁具補修時間(時間) | ⑥ 3.00 | |
| 整備後の漁具補修時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 541 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

3. ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の年間漁具補修日数(日/年) | ① 10 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 28 | |
| 作業人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前の漁具補修時間(時間) | ⑥ 3.00 | |
| 整備後の漁具補修時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 5,068 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

4. 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の年間漁具補修日数(日/年) | ① 10 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 8 | |
| 作業人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前の漁具補修時間(時間) | ⑥ 3.00 | |
| 整備後の漁具補修時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,448 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

5. シラウオ刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|--|
| 整備後の年間漁具補修日数(日/年) | ① 10 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 6 | |
| 作業人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の網の積込み時間(時間) | ④ 0.33 | |
| 整備前の網の積下し時間(時間) | ⑤ 0.33 | |
| 整備前の漁具補修時間(時間) | ⑥ 3.00 | |
| 整備後の漁具補修時間(時間) | ⑦ 1.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑧ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 1,086 | $①*②*③*(④+⑤+⑥-⑦)*⑧/1,000$ |

| | | | |
|-------------|----|-------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 9,497 | |
|-------------|----|-------|--|

(1)-14. 漁港整備に伴う港内作業時間の削減

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、係留施設、用地及び道路が十分な延長・面積を有しており、準備、陸揚げ、片付け、漁具整備(日常補修)等の作業時間が削減された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 3 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 10 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) | ④ 7.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) | ⑤ 6.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 6,109 | $①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000$ |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-------------------------------|---------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) | ① 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) | ② 14 | |
| 乗船人数(人/隻) | ③ 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) | ④ 4.67 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) | ⑤ 4.00 | |
| 労働単価(円/時間) | ⑥ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 6,383 | $①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000$ |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 4 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 6.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 5.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,810 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 6.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 5.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,858 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

5. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 4 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 7.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 6.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,443 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 14 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 4.67 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 4.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 6,383 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 4 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 6.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 5.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,810 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------------------------|-------|--|
| 整備後の操業日数(日/年) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 対象漁船隻数(隻) ② | 3 | |
| 乗船人数(人/隻) ③ | 5 | |
| 整備前の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ④ | 6.00 | |
| 整備後の準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の作業時間(時間) ⑤ | 5.00 | |
| 労働単価(円/時間) ⑥ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 2,858 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|--------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 34,654 | |
|-------------|----|--------|--|

(2) 漁獲機会の増大効果

(2)-1. 漁港整備に伴う出漁日数の増加

・整備された百石漁港は、代替利用港(市川船溜)に比べ港内静穏度が良いため、出漁日数が増加した。

1. 漁船漁業(ホッキ貝雑桁網) 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---|--------|
| 整備前の出漁日数(日/年) | ① | 90 |
| 整備後の出漁日数(日/年) | ② | 100 |
| 整備後の海面漁業の年間陸揚げ金額(千円/年) | ③ | 58,706 |
| 漁船漁業の所得率(%) | ④ | 50.9 |
| 百石漁港所属隻数(隻) | ⑤ | 37 |
| 整備前の市川船溜係留船隻数(隻) | ⑥ | 18 |
| 年間便益額(千円/年) | | 1,453 |

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

青森県海面漁業に関する調査報告書：H23～H27小型定置網漁業を除く漁船漁業平均値

平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業(平均)

H26港勢調査表：漁船総数

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

$((2)-①)*③ \div ② * ④ * ⑥ \div ⑤$

2. 漁船漁業(刺網) 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|---|--------|
| 整備前の出漁日数(日/年) | ① | 130 |
| 整備後の出漁日数(日/年) | ② | 140 |
| 整備後の海面漁業の年間陸揚げ金額(千円/年) | ③ | 10,843 |
| 漁船漁業の所得率(%) | ④ | 50.9 |
| 百石漁港所属隻数(隻) | ⑤ | 37 |
| 整備前の市川船溜係留船隻数(隻) | ⑥ | 18 |
| 年間便益額(千円/年) | | 191 |

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

青森県海面漁業に関する調査報告書：H23～H27小型定置網漁業を除く漁船漁業平均値

平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業(平均)

H26港勢調査表：漁船総数

調査日：平成28年11月10日
調査場所：百石町漁業協同組合
調査対象：百石町漁業協同組合職員
調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

$((2)-①)*③ \div ② * ④ * ⑥ \div ⑤$

3. 漁船漁業(一本釣り) 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|--------------------------|------|--|
| 整備前の出漁日数(日/年) ① | 50 | 調査日:平成28年11月10日 調査場所:百石町漁業協同組合 調査対象:百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の出漁日数(日/年) ② | 60 | 調査実施者:三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法:ヒアリング調査 |
| 整備後の海面漁業の年間陸揚げ金額(千円/年) ③ | 240 | 青森県海面漁業に関する調査報告書:H23~H27小型定置網漁業を除く漁船漁業平均値 |
| 漁船漁業の所得率(%) ④ | 50.9 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)漁船漁業(平均) |
| 百石漁港所属隻数(隻) ⑤ | 37 | H26港勢調査表:漁船総数 |
| 整備前の市川船溜係留船隻数(隻) ⑥ | 18 | 調査日:平成28年11月10日 調査場所:百石町漁業協同組合 調査対象:百石町漁業協同組合職員 調査実施者:三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法:ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 9 | $(②-①)*③ \div ②*④*⑥ \div ⑤$ |

4. 小型定置網漁業 市川船溜暫定係留船

| 区分 | | 備考 |
|-----------------------------|---------|--|
| 整備前の出漁日数(日/年) ① | 110 | 調査日:平成28年11月10日 調査場所:百石町漁業協同組合 調査対象:百石町漁業協同組合職員 |
| 整備後の出漁日数(日/年) ② | 120 | 調査実施者:三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法:ヒアリング調査 |
| 整備後の小型定置網漁業の年間陸揚げ金額(千円/年) ③ | 179,020 | 青森県海面漁業に関する調査報告書:H23~H27小型定置網漁業平均値 |
| 漁船漁業の所得率(%) ④ | 54.4 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省)より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 百石漁港所属隻数(隻) ⑤ | 37 | H26港勢調査表:漁船総数 |
| 整備前の市川船溜係留船隻数(隻) ⑥ | 18 | 調査日:平成28年11月10日 調査場所:百石町漁業協同組合 調査対象:百石町漁業協同組合職員 調査実施者:三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法:ヒアリング調査 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,948 | $(②-①)*③ \div ②*④*⑥ \div ⑤$ |
| 年間便益額(千円/年) 合計 | 5,601 | |

(3) 漁獲物付加価値化の効果

(3)-1. 漁港整備に伴う陸揚げ・出荷時間等短縮による魚価の向上

・百石漁港の整備に伴い、漁獲物の陸揚げから出荷までの時間が短縮され、鮮度保持により魚価が向上した。

1. さけ

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|-----------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) | ① 324,247 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のさけの平均魚価(円/kg) | ② 283 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のさけの平均魚価(円/kg) | ③ 440 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 50,906 | ①*(③-②)/1,000 |

2. ひらめ

| 区分 | | 備考 |
|--------------------|----------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) | ① 33,557 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のひらめの平均魚価(円/kg) | ② 533 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のひらめの平均魚価(円/kg) | ③ 552 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 637 | ①*(③-②)/1,000 |

3. ほっきがい

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|-----------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) | ① 228,213 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のほっきがいの平均魚価(円/kg) | ② 255 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のほっきがいの平均魚価(円/kg) | ③ 256 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 228 | ①*(③-②)/1,000 |

4. かに

| 区分 | | 備考 |
|-------------------|---------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) | ① 5,048 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のかにの平均魚価(円/kg) | ② 356 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のかにの平均魚価(円/kg) | ③ 518 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 817 | ①*(③-②)/1,000 |

5. かれい

| 区分 | | 備考 |
|----------------------|-------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) ① | 2,702 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のかれいの平均魚価(円/kg) ② | 428 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のかれいの平均魚価(円/kg) ③ | 458 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 81 | ①*(③-②)/1,000 |

6. するめいか

| 区分 | | 備考 |
|------------------------|-------|-------------------------------------|
| 整備後の平均漁獲量 (kg/年) ① | 8,118 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 整備前のするめいかの平均魚価(円/kg) ② | 178 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H16～H22平均 |
| 整備後のするめいかの平均魚価(円/kg) ③ | 252 | 青森県海面漁業に関する調査報告書： おいらせ町H23～H27平均 |
| 年間便益額 (千円/年) | 600 | ①*(③-②)/1,000 |

| | | | |
|--------------|----|--------|--|
| 年間便益額 (千円/年) | 合計 | 53,269 | |
|--------------|----|--------|--|

(4) 漁業就労環境の労働環境改善効果

(4)-1. 漁港整備に伴う漁業就業者の作業環境の改善

・整備された百石漁港は、代替利用港(三沢漁港、市川船溜)に比べ、係留施設、用地及び道路が十分な延長・面積を有しており、準備、陸揚げ、片付け、漁具整備等の港内の作業環境が改善された。

1. 三沢漁港暫定係留船 サケ小型定置網漁業(10～20t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 10 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 6.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 9,713 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

2. 三沢漁港暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 100 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 14 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 5 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 4.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 10,098 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

3. 三沢漁港暫定係留船 刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|-------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) ① | 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) ② | 4 | |
| 作業人数(人/経営体) ③ | 5 | |
| 整備前の作業状況の基準値 ④ | 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 ⑤ | 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) ⑥ | 5.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) ⑦ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 5,049 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

4. 三沢漁港暫定係留船 釣り漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|-----------------|-------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) ① | 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) ② | 1 | |
| 作業人数(人/経営体) ③ | 2 | |
| 整備前の作業状況の基準値 ④ | 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 ⑤ | 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) ⑥ | 2.5 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) ⑦ | 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 108 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

5. 三沢漁港暫定係留船 シラウオ刺網漁業(3～5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 5 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 5.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照)漁船漁業3～5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,786 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

6. 市川船溜暫定係留船 サケ小型定置網漁業(3t未満)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 120 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 4 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 6.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,697 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照)小型定置網漁業 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,885 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

7. 市川船溜暫定係留船 ホッキ貝雑桁網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---|-----------------------|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① | 100 |
| 経営体数(経営体) | ② | 14 |
| 作業人数(人/経営体) | ③ | 5 |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ | 1.265 |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ | 1.000 |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ | 4.0 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ | 1,361 |
| 年間便益額(千円/年) | | 10,098 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

8. 市川船溜暫定係留船 刺網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---|-----------------------|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① | 140 |
| 経営体数(経営体) | ② | 4 |
| 作業人数(人/経営体) | ③ | 5 |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ | 1.265 |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ | 1.000 |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ | 5.0 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ | 1,361 |
| 年間便益額(千円/年) | | 5,049 |
| | | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

9. 市川船溜暫定係留船 釣り漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 60 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 1 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 2 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 2.5 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 108 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

10. 市川船溜暫定係留船 シラウオ刺し網漁業(3~5t)

| 区分 | | 備考 |
|---------------|---------|--|
| 整備後の年間労働日数(日) | ① 140 | 調査日：平成28年11月10日 調査場所：百石町漁業協同組合 調査対象：百石町漁業協同組合職員 調査実施者：三八地方漁港漁場整備事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 |
| 経営体数(経営体) | ② 3 | |
| 作業人数(人/経営体) | ③ 5 | |
| 整備前の作業状況の基準値 | ④ 1.265 | Bランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 整備後の作業状況の基準値 | ⑤ 1.000 | Cランク(青森県公共工事設計労務単価) (別紙参照) |
| 港内での作業時間(時間) | ⑥ 5.0 | 平成28年11月10日実施のヒアリング調査による。 出港準備 陸揚げ、選別、箱詰、出荷 片付け、準備、漁具整備 |
| 労働単価(円/時間) | ⑦ 1,361 | 平成26年漁業経営調査報告(平成27年11月農林水産省) より算定(別紙参照) 漁船漁業3~5t未満 |
| 年間便益額(千円/年) | 3,786 | ①*②*③*(④-⑤)*⑥*⑦/1,000 |

| | | | |
|-------------|----|--------|--|
| 年間便益額(千円/年) | 合計 | 51,680 | |
|-------------|----|--------|--|

漁業者の労務単価(H28)

◆海面漁業

| | 延べ労働時間(雇用者) | | | 雇用労賃 (千円) | 労務単価 (円/h) | 平均単価 (円/h) |
|---------------|-------------|-----|-------|--------------|---------------|---------------|
| | 海上 | 陸上 | 計 | | | |
| 漁船漁業 3t未満 | 33 | 137 | 170 | 178 | 1,047 | 1,938 |
| 漁船漁業 3～5t未満 | 113 | 222 | 335 | 456 | 1,361 | |
| 漁船漁業 5～10t未満 | 723 | 372 | 1,095 | 2,182 | 1,993 | |
| 漁船漁業 10～20t未満 | 3,463 | 779 | 4,242 | 8,835 | 2,083 | |
| 小型定置網漁業 | 921 | 443 | 1,364 | 2,315 | 1,697 | |

◆海面養殖業

| | 延べ労働時間(雇用者) | | | 雇用労賃 (千円) | 労務単価 (円/h) |
|----------------|-------------|-------|-------|--------------|---------------|
| | 海上 | 陸上 | 計 | | |
| ほたてがいがい養殖業(東北) | 734 | 1,337 | 2,071 | 2,091 | 1,010 |

※労務単価は、雇用労賃÷延べ労働時間により算定

※平均単価は、各階層延べ労働時間×労務単価の総計÷各階層の延べ労働時間の総計により算定

※延べ労働時間、雇用労賃は、平成26年漁業経営調査報告(大臣官房統計部、平成27年11月、農林水産省)による

労働環境ランク別基準値(H28)

| ランク | 漁業作業状況、該当する作業イメージ | 基準値 | 労働環境ランク別の基準値の算定 | | | |
|--|---------------------------------------|------------------------------|----------------------|--------|------------|--------|
| | | | 建設業職種 | 作業労務状況 | 報酬日額(全国平均) | 平均報酬日額 |
| <Aランク> ○漁業作業状況 事故・傷害・病気等の発生の恐れが大きい ○該当する作業イメージ ・厳寒期における長時間屋外作業(ex.北海道などにおける冬場の刺網はなし作業等) ・大潮位差漁港における岸壁作業(ex.6m程の潮位差のある有明海での陸揚・準備作業等) | Sa= 1.457 26,278/18,038 | 事故・傷害・病気等の危険性が高い作業（8職種） | | | | |
| | | とび工 | 高所作業で落下等の危険性高い | 20,700 | 26,278 | |
| | | 潜かん工 | 地下の気密な作業室内での作業で危険性高い | 29,000 | | |
| | | 削岩工 | 削岩機や爆薬を使用する作業で危険性高い | 25,600 | | |
| | | トンネル特殊工 | トンネル内での作業のため、危険性高い | 29,800 | | |
| | | トンネル作業員 | | 22,600 | | |
| | | 潜水士 | 海面下での作業のため、危険性高い | 40,000 | | |
| | | 山林砂防工 | 急傾斜地や狭隘な谷間での作業で危険性高い | 15,400 | | |
| | | 橋梁特殊工 | 高所作業を伴い、落下等の危険性高い | 25,700 | | |
| 橋梁塗装工 | | 27,700 | | | | |
| <Bランク> ○漁業作業状況 過重労働(A、Cの中間) ○該当する作業イメージ ・岸壁等が未整備のため、漁船の上下架作業等が人力で行われている場合等 ・岸壁等が未整備のため、漁獲物の陸揚や資材積込作業等が重労働である場合等 | Sb= 1.265 22,825/18,038 | 重労働(通常作業よりも肉体的負担が大きな作業)（9職種） | | | | |
| | | 石工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | 24,500 | 22,825 | |
| | | ブロック工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | 22,100 | | |
| | | 鉄筋工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | 21,900 | | |
| | | 鉄骨工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | 19,500 | | |
| | | 普通船員 | 海上での作業で、重労働 | 19,700 | | |
| | | 潜水連絡員 | 海上での作業で、重労働 | 24,800 | | |
| | | 潜水送気員 | 海上での作業で、重労働 | 25,100 | | |
| | | 型わく工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | 25,000 | | |
| 建築ブロック工 | 人力での屋外作業が主体で重労働 | - | | | | |
| <Cランク> ○漁業作業状況 通常作業 ○該当する作業イメージ ・漁港整備等によりA又はBランクの危険性や重労働性が改善された通常作業負荷の状況 | Sc= 1.000 | 通常作業(比較的肉体的負担の小さな作業)（8職種） | | | | |
| | | 普通作業員 | 人力での屋外通常作業 | 15,600 | 18,038 | |
| | | 軽作業員 | 人力での屋外軽作業 | 11,900 | | |
| | | 板金工 | 屋内での作業が主体 | 20,600 | | |
| | | サッシ工 | 屋内での作業が主体 | 22,700 | | |
| | | 内装工 | 屋内での作業が主体 | 20,200 | | |
| | | ガラス工 | 屋内での作業が主体 | 19,600 | | |
| | | 建具工 | 屋内での作業が主体 | 16,900 | | |
| | | ダクト工 | 屋内での作業が主体 | 16,800 | | |

※報酬日額は、「公共工事設計労務単価(平成26年度)」による